

[004] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9840>

出版情報：中国文学論集. 4, 1974-05-25. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

巻頭論文「日本における京劇」は九州大学中国文学関係者達のアンコールに添えて下さった浜一衛先生本学最後の演技といえよう。九州に生活されながら終に関西弁でとおされた先生だが、激しい演習と巧みな話術を以て私たちの中に生き続ける先生はやはりかけがえない九州大学の先生であられた。ここに永年の御指導に厚く謝意を表するとともに、今後の一層の御活躍をお祈りし、ささやかな花束「中国文学論集」第四号、「浜一衛先生退官記念号」をお贈りする。

第三号以来一年余の長年月を要してしまったことは編集子の不手際によるものであるが、創刊以来最高の質と量によって飾ることができたことは悦びにたえない。殊に本号が「芸芸座談会ノート」で活躍された諸先輩から若手大学院学生諸君に至る広範な人々のもことによって飾られていることは、浜先生の九州大学における位置を如実に物語っているとともに、古稀を迎えられて尚御健在の目加田誠先生から岡村繁先生に至る九州大学中国文学研究室の伝統がみごとに生きつづけているといえよう。顧みるに、「芸芸座談会ノート」の時代にも苦しみの時はあつたし、「中国文学論集」の彙報にあるように、学内事情による研究会中断の時期もあつた。また、卒業生諸氏もそれぞれ現場での時間に追われて研究会の席に久しく顔を見ぬ人々もある。第四号刊行を機に研究室の一層の結束と相互の研賛をはかりたい。諸者諸賢の忌憚のない御批判を待つ。

(川北泰彦記)

○第五号原稿募集

昭和四十九年十月三十一日まで
四百字詰原稿用紙四十枚程度

中国文学論集

第四号

(中国文芸座談会ノート通算二十一号)

昭和四十九年五月二十日 印刷
昭和四十九年五月二十五日 発行

編集兼
発行者

福岡市東区箱崎 九州大学文学部内
九州大学中国文学会

代表者 岡村 繁
振替口座 福岡三三五〇七番

印刷所

福岡市舞鶴一丁目五番六号
川島弘文社

代表者 川島道昭